

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	立命館アジア太平洋大学	整理番号	1-2-102
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	多言語環境における日英二言語教育システム		
申請単位	大学全体		
申請担当者	慈道 裕治		
(取組の概要)			
<p>本取組は、1) 言語能力の育成、2) 価値的多様性の下でのコミュニケーション能力の涵養、3) 政策思考の専門力量の育成を通じて、立命館アジア太平洋大学の理念である「自由・平和・ヒューマニズム」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を実現しようとするものである。</p> <p>この取組の基盤は、世界 66 カ国・地域の学生と 17 カ国・地域からの教員という多言語環境である。この上に立って、言語教育と基礎・専門教育を連携させた教育を行なっている。言語教育では、週 4 回の集中学習、到達度別科目編成、コンテンツ・ベース教育、付接モデルなどを実施している。基礎・専門教育では、日本語で開講する科目と英語で開講する科目はほぼ半々であり、全科目のうち約 7 割は両方の言語で開講している。</p> <p>学生は、日本語または英語のいずれかで所定基準を満たせば入学できる。日本語基準で入学した学生は、英語の学習を行ないつつ日本語で授業を受け、3 年生以降は英語でも授業を受ける。こうした教育課程設計により、多言語環境を活かし、言語教育と基礎・専門教育の連携により本学の理念を実現する学生を育成するものである。</p>			
(採択理由)			
<p>この取組は、立命館アジア太平洋大学の教育目的・教育方針である「多様な学生・教員構成を活かして、国際社会で活躍できる人材の養成」を実現するため、設置の主旨に添って全学的試みとして決定され実施されています。成果を問うにはまだ早い段階ですが、我が国にこれまで例を見ない斬新な取組から我が国の大学教育の将来を展望する上で、優れた特色があり、他の大学の参考になる事例と思われます。特に、多言語・多文化環境での二言語教育の実践など、他に例を見ない意欲的な取組であると評価することができます。今後は、その発展の過程での継続的成果（到達度）評価などが期待されます。</p>			